

板柳町稲荷神社のサイカチの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県北津軽郡板柳町大字掛落林字宮本111番地 (稲荷神社内)
名木の名称	稲荷神社のサイカチ 推定樹齢 約300年
名木の所有者	掛落林常会長 齊藤いつ子
治療年月日	令和元年7月3日
樹木医による 名木の診断内容	当該樹木は、寛永年間に創建の観音堂(現稲荷神社)とともに植栽したとされるサイカチで、木の実は石けんの代用や漢方薬として利用されたもので、町指定天然記念物に指定されている。 平成24年度に本事業で土壌改良、根系腐朽部の処理、支柱の設置を実施したものの、現在は、主幹部が完全に空洞化し樹形は崩壊して枝葉の枯損も出現し生育の衰弱が見られる。 また、西から北西部の生存部からは徒長枝が成長し、込みあっている状態である。
実施した治療内容	治療には、活性炭や高度な有機質改良材を使用した土壌改良工や樹勢のよい枝を残すための整枝剪定を実施して樹勢回復を図るものである。 ○土壌改良工—根元周辺の土壌の有機質を高めるために活性炭等による土壌改良を行う。 ○発根促進工—酸素含有水による発根剤を散布して、根系に新たな細根発生を促進させる。 ○整枝剪定工—込みあっている枝を整理し成長の良い枝を徒長させる。
今後の名木に 対する留意事項	経過観察する。



板柳町大字掛落林

稲荷神社のサイカチの木です。

着工前の全景



徒長枝の剪定状況

表土の掘り起こし



土壌改良工
活性炭の混合



発根剤の散布



樹木治療の完成